

8月定例教育委員会議事録

- 1 日 時 平成26年8月18日(水) 午前9時30分から午前11時14分
- 2 場 所 宗像市役所本館3階第2委員会室
- 3 出席委員 委員長 井上裕之
委員 川上美子
委員 中岡政剛
委員 宮司葉子
教育長 遠矢修
- 4 その他の出席者 教育部長高橋勇次、市民協働・環境部理事兼文化・スポーツ推進課長磯部輝美、市民協働・環境部理事鶴英樹、子ども部長柴田祐治、教育部主幹指導主事齊藤智恵美、教育政策課長岡田光晴、教育政策課指導主事高木陽一郎、教育政策課指導主事西島深、教育政策課指導主事正路澄代、学校管理課長衣笠哲哉、学校管理課給食係長城戸正信、学校管理課主任管理栄養士柴田道世、子ども育成課長中野万由美、子ども育成課社会教育主事久保謙司、子ども育成課幼児教育係長早川靖彦、図書課長長谷川愼、郷土文化交流課長清水比呂之、コミュニティ・協働推進課長瀧口健治、コミュニティ・協働推進課参事村上治彦、教育政策課政策係長許斐知加、教育政策課政策係企画主査船越健樹、教育政策課教育連携コーディネーター田中雅子
※ 傍聴 なし

5 前回(7/23定例、7/30臨時)議事録の承認(資料1)

6 審議事項

- ① 議案第26号 宗像市総合スポーツセンター整備審議会委員の選任(案)について(資料2)

《選任》

【遠矢教育長】 資料2参照。議事録なし。(▲30秒)

【文化・スポーツ推進課長】 資料2参照。議事録なし。(▲30秒)

【井上委員長】 審議会は委員が8人以内の委員という事になっておりますけれどもこの(1)(2)(3)の人数の割り当ては定めなくて、現在は4・3・1となっております。これは、変えることはできるのですか。

【文化・スポーツ推進課長】 特に人数の定めはございませんので、その時々状況に応じて変更可能です。

【川上委員】 市民代表の方を公募選考されていますけれども、どういった方でしょ

うか。スポーツはされているのですか。

【文化・スポーツ推進課長】 宗像市居住の60代の男性で、市民公募を行い、作文での選考し選任いたしております。提出された作文には、具体的に自分がどういったスポーツに関わってきたとかの記載はありませんでした。

【井上委員長】 議案26号について承認いただけますか。

【各委員】 はい。

② 議案第27号 宗像市総合スポーツセンター基本構想・基本計画の策定について（諮問）（資料3）

《承認》

【遠矢教育長】 資料3参照。議事録なし。（▲30秒）

【文化・スポーツ推進課長】 資料3で訂正を1項目お願いしたいと思います。諮問理由のところの（1）現行3体育館で不足する機能のところの「で不足する」を削除していただくようお願いいたします。予定では、9月からこの審議会に諮問して、今年度中に策定をしていきたいと考えております。

【井上委員長】 これは教育委員会から諮問する事になっております。この諮問事項、諮問の理由、の記述がこれでよろしいかどうか審議をお願いします。

【井上委員長】 今月中に第1回目が開催されるのでしょうか。

【文化・スポーツ推進課長】 調整中ですが、9月上旬になるのではないかと考えております。

【井上委員長】 議案27号について承認いただけますか。

【各委員】 はい。

③ 第28号議案 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例（案）の制定について（資料4）

《承認》

【遠矢教育長】 資料4参照。議事録なし。（▲40秒）

【子ども育成課長】 子ども・子育て支援新制度について概要をまとめましたリーフレット「なるほどBOOKすくすくジャパン」を配布しております。平成24年8月に成立いたしました子ども・子育て関連3法に基づきまして、平成27年度から子ども・子育て支援新制度がスタートいたします。資料4の通り、新制度では認定こども園、保育所、幼稚園の施設型給付と、新設されます少人数単位で0歳から2歳の子どもの預かる事業、4つのタイプがございますが、家庭的保育、小規模保育、居宅訪問型保育、事業所内保育の地域型保育給付によりまして、幼児期の教育、保育について質、量ともに充実させるものがございます。市町村は新制度の実施主体といたしまして地域の実情を反映した事業計画を策定いたしますので、地域型保育事業を実施するかどうか検討していきます。新制度の給付を受けるために、施設や事業者は、認可を受けた後に日常的な運営状況について制度

の実施主体であります市町村の確認を受ける必要があります。今回資料の二重線で囲んでいる確認主体が宗像市になっている部分の特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を条例で制定いたします。条例の内容につきましては、国の基準に沿う形となります。なお、市独自の基準といたしましては、市の暴力団等追放推進条例に基づきまして、暴力団排除に関する規定を追加いたします。幼稚園に関する事務が、教育委員会所管でありますので、この条例案を提案いたしました。なお、承認を頂きましたのちは、9月議会に上程する予定です。

【川上委員】 子ども子育て支援新制度に関しての情報は、昨年8月にリーフレットをいただいています。宗像市内の幼稚園は私立で、この制度には入らない、もしくは私立幼稚園が申請しない限りは、宗像市の幼稚園は入ってこないと思います。委員会の所管ではないと思いますが、特定地域型保育事業について宗像市としてこれからそういう事業に手を挙げられる事業者の方や、今現存する施設の方の動向の把握状況を参考までにお聞きしたいと思います。

【子ども育成課長】 この制度に基づきまして、市町村では「子ども・子育て支援事業計画」を策定することが義務づけられております。計画には量の見込みとそれに対する確保方策を記載するとなっております。地域の実情を踏まえ今後どのようなサービスをどのくらい、いつまでに実施していくかという事を定めることとなります。昨年の秋に保育サービスの今後の利用希望も含めたニーズを把握するために市内の保護者にアンケート調査を実施して量の見込みはある程度確定しております。その中でも、0歳児から2歳児までの保育が計画の最終年度でも人数が不足するという結果が出ております。その確保方策を検討するに当たりまして0歳から2歳の保育の確保につきましては、保育所、幼稚園から認定こども園への移行などを中心に、施設からの意向調査を現在しており、それを基に検討していくようにしております。その中でも保育の確保ができないということになれば、地域型保育の家庭的保育や、小規模保育なども実施していきながら、保育を確保しなければいけないというような状況になってまいります。幼稚園につきましては、新制度の中では、共通の給付になります施設型給付に移行することもできますし、現行のままの幼稚園で残ることも可能となっております。現状の幼稚園の移行の状況といたしましては、東海大学付属自由ヶ丘幼稚園が認定こども園への移行を希望されておりました、今年度施設整備を行いまして、来年度4月には移行する予定で進めているところです。

【井上委員長】 認定こども園に移行するのはその一園だけですか。

【子ども育成課長】 はい。平成27年度に認定こども園に移行希望しているのは自由ヶ丘幼稚園だけです。

【川上委員】 他の自治体と同じような条例と見比べたときに、特定教育・保育施設の方は、小学校への連携の方が参酌すべき基準として明記されています。宗像市は確実に保幼小連携されているのですが、そういうことはここに明記しなくてもよろしいのですか。

【子ども育成課長】 本来、教育委員会に条例案をお示しする時には、議会に上程する条例案を提出いたしますけれども、今回は内容がより分かるようにということで、このような様式でお示ししております。保幼小連携につきましては参酌すべき基準になっていますので、条例の中に盛り込む予定でございます。

【中岡委員】 2号認定と3号認定の場合は満三歳以上と満三歳未満というところが区分となっているようなのですが、3号認定から2号認定に変わる場合もやはり同じようにこの申請等をしていくのでしょうか。

【子ども育成課長】 現状でも、保育所の入所に関しましては、在園児で継続であっても毎年申し込みをしていただきますので、毎年申請をしていただいて認定を受けていただくという手続きになります。

【中岡委員】 定員を上回る場合の選考について市が利用調整をするという部分が条例案にはあります。リーフレットには、保育所をどこにするのかということについても利用調整をしますということになっているようなのですが、この2点とも市の方で利用調整をしていくことでよろしいのでしょうか。

【子ども育成課長】 現状も保育所入所に関しましては、市の方に申し込みをしていただきまして、希望する園を書いていただいて、入れない場合は市の方で調整をするという形をとっておりますので、新制度になりましても、同じ手続きを継続していく予定です。

【中岡委員】 最後に施行期日というのがあるのですが、子ども・子育て支援法の施行の日とすると記述があるのですが、これは条例案の施行なのか、子育て支援法の施行なのか。

【子ども育成課長】 施行に関しては新制度が始まります27年4月からとなりますので、条例案は平成27年4月1日から適用できるようにする予定です。

【井上委員長】 議案28号について承認いただけますか。

【各委員】 はい。

7 協議事項

宗像市学校教育基本計画骨子（案）について（資料6）

【教育政策課長】 市の総合計画の将来像や施策の取り組み方針に従いまして、毎年「教育21世紀プラン」を定め教育行政を進行して参りました。しかし、将来を見据えた教育の方向性を明らかにし、宗像市ならではの個性を出した学校教育の充実と施策の積極的な展開をこれまで以上に図る必要性があり、長期的な展望に立って教育の方向性を示すビジョンとして作成することになります。計画の期間は、平成27年度から平成36年度の10年間で市の第2次総合計画の期間に合わせています。今年の1月と3月の教育委員会終了後に平成26年度の21世紀プラン暫定版の協議をしていただいております。今回の教育委員会では骨子案について協議していただきまして、その意見を反映させたものを9月の定例教育委員会で骨子を審議して頂こうかと思っております。10月には計画案を議案

として提案したいと思っています。その後、12月にパブコメを実施いたしまして、併せて、校長会、教頭会、学校運営評議委員会の意見をいただきまして、最終的には来年2月頃の定例教育委員会までに報告、決定をさせていただきたいと考えております。

【齊藤主幹指導主事】 21世紀プランを基に構成しております。具体的な取り組みという事で7項目挙げております。この先8番目にそれぞれの項目について具体的な形で示していくということと、その中で家庭と地域の役割についても明確にしていきたいと思っております。いろいろなご意見いただければと思っております。

【井上委員長】 4番目の基本構想というのがありますが、(1)(2)となっておりまして違和感があるのは、(2)の目指す子ども像の中で、目指す学校像、目指す家庭像、目指す地域像となっています。これは、(2)の目指す子ども像という中に付随して含まれると考えるのですか。

【齊藤主幹指導主事】 そこにつきましても今、見直しをしているところですが、(2)に目指す子ども像ということで、自立しかかわりを深める子どもということで明記した後にどうなるかははっきりしていませんが、目標という形で学校の役割、家庭の役割、地域の役割がこういうところを目指していきますという目標の形で修正をかけているところです。

【中岡委員】 27ページの目次では「宗像市学校教育基本計画」になっているのですが、28ページは「宗像市教育振興基本計画」それから、下の第2次宗像市総合計画の分でも、「教育振興基本計画」とありますが2つの計画を策定するのですか。

【齊藤主幹指導主事】 この計画の位置づけを学校教育にある程度限定して、学校を入れた方がいいというご意見をいただきましたのですが、まだ修正が入っていないところがあります。学校教育基本計画という形で進めていきたいと思えます。

【井上委員長】 「学校」をいれていいわけですね。

【齊藤主幹指導主事】 学校教育基本計画という形で、「振興」もとります。

【井上委員長】 31ページの基本方針のところ「ヘルスプロモート力」という記述については日本語で表現するとどのような言葉になるのでしょうか。

【齊藤主幹指導主事】 調べてみたら、「ヘルスプロモーション」という言葉はきちんとあるのですが、日本語で説明できないかなと思ひ、健康の維持管理能力とか推進力とかそういうような言葉を探しています。他の力についても、自立しかかわりを深める子どもを育てるためにどのような力が必要かというところで表現を検討しております。

【川上委員】 グローバル人材の育成は、確かな学力を育む教育活動だけなのか疑問です。確かに英語を使えないとグローバル人材になれないという点では、確かな学力という部分もあると思ひます。学力だけではなく、心の育成、体力、地域を知らなければグローバルでは通用しないと考へますので、グローバル人材の育成は、宗像市にとって大きな目標になるのではないかと思ひます。学力の向上部分だけにグローバル人材の育成の位置づけというのが適当かどうか検討していただけたらと思ひます。

【教育部長】 現在、策定中の第2次宗像市総合計画の施策としてもグローバル人

材の育成を記述することにしております。グローバル社会に適応できる人材を育成していこうという市の重要施策となりますので、どの部署を軸として事業を推進するのか検討したいと思っております。

【川上委員】 3番目の豊かな心の部分で生徒指導の充実とありますが、以前「いじめを起こさない生徒指導の充実」というテーマだったと思っておりますが、計画の説明の部分で補足していただけたらと思っております。

【齊藤主幹指導主事】 いじめを生まないという言葉があつたのですが、学校の中での課題というのは、いじめも当然ですが、不登校問題とかそれ以外にも生徒指導上の課題が様々ありますので、説明の部分でいじめのことを表していこうと思っております。

【川上委員】 最後の7番目で学校規模の適正化というのが入っています。これは、児童生徒数に偏りのある校区を再編成するというのを盛り込むことなのでしょう。

【教育部長】 合併後の学校規模と人口規模を比べてみると非常に多いところもありますし、効果的な学校運営という視点から、どこかの段階で議論をしておく必要があると思っております。教育委員の皆さんと議論をして、この10年である程度の道筋をつくるために、この項目を入れております。

【井上委員長】 第2次宗像市総合計画案の策定状況をお聞かせをお願いします。

【教育部長】 6月議会でもこの総合計画案については、各常任委員会の中で議論をしていこうという事で最終的な考え方が議会の方から示されており、これをもって今回議会から出た意見を修正して最後の仕上げ段階になっておりますので9月の定例委員会でダイジェスト版を説明させていただきたいと思っております。

【中岡委員】 今後10年間の計画という事で、しっかりと取り組んでいかなければいけない内容が入っていると感じております。生徒指導では、小中の連携が重要になり、また地域との連携を含めてこれをどう進めるのかという事が大きな課題ではないかと思っております。ワクワク WORK 等でキャリア教育については先進的に取り組まれています。自立と協調が二本の大きな柱と思っておりますので、自立の中身としてキャリア教育を今後どういう事業で行うのか考えていただければと思っております。自立はもちろん、さらに自分をどう高めていくのかという立身というような方向性も必要ではないかと考えておりますので、どうぞよろしくをお願いします。

【井上委員長】 基本計画は10年ですが、5年で見直しをするという事でよろしいですか。

【齊藤主幹指導主事】 はい。

8 報告事項

① 行政報告(資料7)

【遠矢教育長】 7月の24日、25日に霧島市でありました九州地区文化財保護整備委員会に参加して参りました。来年度は、宗像市で7月中に開催という事が総会で決定

されました。場所や内容についてはこれから計画を立てていきたいと思っております。7月31日、教員養成の質向上に関する諮問会議に出席しました。8月4日、5日はグローバルアリーナで開催されました日本の次世代リーダー塾に参加し、宗像の食材を使用した味噌汁コンテストで審査員を務めました。8月8日に日の里中学校陸上部の坂元海月さんが、走り幅跳びで全国大会出場が決まりましたので表敬訪問がありました。9日はユリックスで世界一行きたい科学広場、夏の課外授業に参加して参りました。

②後援報告（資料8）

資料8参照。議事録なし。

③宗像・沖ノ島と関連遺産群の文化庁からの課題の対応について（資料9）

【世界遺産登録推進室長】 資料9参照。議事録なし（▲4分30秒）

④宗像市史編纂審議会委員の決定について（資料10）

【郷土文化交流課長】 本日差し替え資料を配布しております。知識経験者が5人で各分野から1人ずつ入っていただいております。そして市民活動団体が2人、そして市民代表が1人。この市民代表につきましては、市民公募という形をとりまして3人の方が応募され、作文と面接により1名が選考決定しました。この審議会は、市史の基本的な方針について審議していただくものです。

⑤平成26年度中学生職場体験事業（ワクワクWORK）の受け入れ事業所について（資料11）

【教育政策課長】 事業目的は、5日間の職場体験活動、事前学習、事後学習等を通じて将来の夢や、地域社会への理解を深め職業観を育むという事になっております。対象生徒は7中学校の2年生853名が職場体験を行います。今年度の新規事業所は全238事業所のうち23事業所となります。

⑥平成26年度宗像市・福津市小学生県外交流使節団について（資料12）

【教育政策課長】 今年からの新規事業になります。長野県松本市から宗像市に対し、都市間交流の提案がなされております。松本市とは航空便でつながっておりますので、今後は自然、文化、歴史、商業、特産物でもさらに交流が広がる可能性もあります。この事業の目的は、宗像市・福津市と長野県の小学生が交流して、文化・環境・生活習慣の異なる地域の子供と生活を直接体験することを通して子どもたちの健全育成をはかり、故郷むなかた・福津を見つめなおし幅広く柔軟な考えをもった次世代層を育てることです。事前研修を3回、本研修は1月4日から6日の2泊3日、事後研修を2回実施する予定です。平成26年度は松本市に行き、来年度は松本市から宗像市、福津市に訪問があり年度交代で事

業をしていく予定です。

【井上委員長】 松本市になったいきさつはありますか？

【教育部長】 どの自治体も都市間交流を行い、相手の街のいいところをみつけてお互い切磋琢磨していこうという動きが全国的にもございます。昨年度、松本市長から福岡県の市町村と交流したいという申し出を宗像市長・福津市長が受けて、子どもたちにも雪国体験や夏休みに海の体験交流をしようということで交流事業を進めております。教育だけではなくて、産業・観光で交流していくところがきっかけです。

⑦平成26年度秋季小中学校運動会・体育祭への出席について（資料13）

【教育政策課長】 本日差し替えがあり、川上委員と遠矢教育長の訪問学校が変わっております。

⑧平成26年度小学生読書リーダー養成講座実施報告について（資料14）

【図書課長】 7月28日と8月7日と2日間にわたりまして、ユリックス図書館と、メイトムの会議室の両会場で開催しました。児童のアンケートに、今後のリーダー活動をとっても楽しくやっていきたい、読書リーダー研修に来ていなかった友達にも教えてあげたいというアンケートがあり効果があったと思います。読書の楽しさを全校に広げるために、司書教諭、図書司書を対象に、子ども育成課の久保社会教育主事による講義がありました。カリキュラムが詰まっているようでしたので、次年度以降に向けて内容や開催時間等も検討したいと思っております。

⑨福岡教育大学との連携事業について（資料15）

【中教育コーディネーター】 特別支援教育のプロジェクトの報告です。特別支援教育は自由ヶ丘小学校と中央中学校をモデル校としています。どの学級でも特別な配慮を要する子どもがいます。子ども同士がうまくいかず学級崩壊の状態になることもあります。担任教師が、特別な配慮を要する子どもの実態を正確に把握し、どのような支援や指導をするべきかプロジェクトとして取り組んでいます。自由ヶ丘小学校では、大学院生が5月から7月まで毎週火曜日に子どもの状況をきめ細やかに観察し、7月4日に自由ヶ丘小学校の先生全員に報告し、それを受けて2学期からどのようにこの子に関わっていったらよいのかという研修しました。その子の強み、弱み、どういう時に授業に参加できる、参加できないなどを、きめ細かに分析してくれました。ある日、子ども達がサッカーをしていました。A君はそのサッカーに入りたかったのですが、「入れて」という事が言えませんでした。A君は「みんな何しとん？」と言いました。サッカーをしているクラスの子は「見ればわかるやん」と引いてしまいました。A君には、そういう時に「入れて」と言えばいいんだよという指導をします。これをソーシャルスキルトレーニング「SST」といいます。そういうトレーニングを家庭や学級で行えば、やがて場に応じた言葉や関わり方ができるようになるという事

がこの研修で見えてきました。その報告の中で全職員は大変前向きな感想を持ちました。どのような支援を2学期からしていけばよいかという事で、教師が、シンプル、ビジュアル、クリアー、明確である指導をすることがいいだろうとをクローズアップされました。ベテランで学級経営が上手な教師は無意識にそれをやる事ができていますが、できない教師もたくさんいます。「姿勢を正しましょう」と教師が言っても、「姿勢を正す」という事がどういう事か分からない子どもたちがたくさんいます。絵を張って掲げておくと、背筋はどうすればいいのか、手はどこへおけばいいか椅子はどこに座ればいいのかということを目で子どもは身に付けていきます。私たち人間は目で入る刺激が強い人と、耳から入る刺激が強い人がいるそうです。特徴を早く見つけてあげて、早い時期からソーシャルスキルトレーニングをすると雰囲気の良い学級づくりができるそうです。このような研修を自由ヶ丘小学校で1学期に行いました。

⑩雑誌スポンサー報告について（資料16）

【図書課長】 資料16参照。議事録なし。（▲30秒）

9 その他（当日配布資料）

①平成25年度図書館要覧について

【図書課長】 配布資料参照。議事録なし。（▲2分30秒）

②いせきんぐ宗像シンポジウム2014の開催について

【郷土文化交流課長】 配布資料参照。海の道むなかた館では9月30日から11月にかけてまして魏志倭人伝の国々とムナカタ国という関連の特別展を企画しております。

③平成26年度市町村教育委員会研究協議会の開催について

【教育政策課長】 開催日は10月14日、15日で、開催地は別府国際コンベンションセンターで開催されます。詳細については入手次第、報告いたします。

④平成26年度福岡県社会教育研究大会の開催について

【コミュニティ・協議課長】 今回研究主題として「放課後等の教育支援」というテーマになっております。シンポジストとして玄海東小学校の田中校長が参加されることになっています。

⑤学校給食料理コンクール及び調理従事員研修会について

【主任管理栄養士】 この審査には、おいしさ、見た目はもちろんのこと、栄養素、食品の使い方が学校給食の基準に見合っているか、また費用が、学校給食の小学校で250円、中学校で280円程度に収まるかを市町村の栄養教諭2名、市の学校給食会の理事、本年度は赤間小学校の瀧岡教頭に入ってくださいました。それから昨年度の優勝者自由ヶ丘南

小学校の調理主任にも審査してもらいました。調理している様子が学校給食管理基準に合っているかもチェックし、総合的に審査しております。本年度の優勝は、玄海東小学校の川口さんで、10月に県が開催します料理コンクールに宗像市の代表として出場予定です。本年度のコンクールの応募作品は全て、受賞の有無にかかわらず給食に採用させていただきます。

料理名人育成塾は子どもの料理教室です。3番参加人数、7月31日参加人数男子19名、女子18名の誤りです。応募人数に関しては、男子が毎年三割程度の応募がありまして、ここ数年で少しずつ上昇しているところです。5番目参加費ですが、給食程度という事で250円を一部負担していただいています。アンケート結果では、楽しかった95%、今日作った料理をもう一度作ってみたいと答える子どもたち95%です。

【井上委員長】 次回の定例教育委員会は、9月24日午前9時30分から市役所本館3階301会議室で行います。

次回開催予定日9月24日(水)午前9時30分開始

平成26年9月24日

井上裕之

中岡政剛